

■ 図画工作科の目標

表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。

■ 図画工作科の特質に応じた見方・考え方

感性や想像力を働かせ、対象や事象を、形や色などの造形的な視点で捉え、自分のイメージをもちながら意味や価値をつくりだすこと。

■ 高知県が目指す授業づくりのコンセプト

○ 図画工作科における「学びを変える」授業づくりとは

一人一人の児童が、自らの感性を働かせながら、資質・能力を発揮して表現や鑑賞の活動を行い、つくりだす喜びを味わうことです。そのためには、よりよく生きようとする児童の情意の調和的な発達をねらいとして豊かな情操を培うことが重要です。

○ 図画工作科における「学びをつなげる」授業づくりとは

児童が材料や作品、出来事などを、形や色などの視点で捉え、自分と対象との関わりを深め、自分にとっての意味や価値をつくりだすことです。そのためには、育成を目指す資質・能力の系統性を明確にし、題材など内容や時間のまとまりの中で造形的な見方・考え方を働かせる場面を積み重ねることが重要です。

○ 図画工作科における「学びを高める」授業づくりとは

造形的な見方・考え方を働かせ、表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習の充実を図ることです。そのためには、題材など内容や時間のまとまりの中で、造形活動と鑑賞活動とが往還するような学習過程を設定し、表現したことを自身で味わったり、友人と交流したりすることによって、表現が深まったり、広がったりするように配慮することが大切です。

■ 図画工作科の特質に応じて、効果的な学習展開ができるように配慮すべき内容

○ 〔共通事項〕の取り扱い

〔共通事項〕は表現及び鑑賞の活動において、共通に必要な資質・能力であり、児童の資質・能力の働きを具体的に捉え、育成するための視点となります。〔共通事項〕は図画工作の全ての学習に含まれている内容であり、「A 表現」及び「B 鑑賞」の指導を通して、常に配慮しながら指導することが大切です。

○ 児童の思いを大切にしたい指導

各学年の「A 表現」の指導に当たっては、児童が自分の思いを大切にしながら、発想や構想をしたり、技能を働かせたりできるような指導をすることが重要です。造形活動と鑑賞活動が往還したり、自分や友人のよさや可能性を見いだしたりする学習過程の工夫が大切です。

○ 言語活動の充実

「A 表現」及び「B 鑑賞」の指導においては、〔共通事項〕を視点に、感じたことや思ったこと、考えたことなどを、話したり聞いたり話し合ったりする、言葉で整理するなどの言語活動の充実を図ることが重要です。

資質・能力を身に付けるための表現及び鑑賞の学習活動例

三つの柱の資質・能力

学びに向かう力、人間性等

主体的に表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度。

知識及び技能

A 表現(2)
イ 絵や立体、工作に表す活動を通して、表現方法に応じて材料や用具を活用するとともに、前学年までの材料や用具などについての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫すること。

〔共通事項〕(1)

ア 自分の感覚や行為を通して、形や色などの造形的な特徴を理解すること。

思考力、判断力、表現力等

A 表現(1)
イ 絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したこと、見たこと、伝えたいことから、表したいことを見付けることや、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じ、用途などを考えながら、どのように主題を表すかについて考えること。

B 鑑賞(1)
ア 親しみのある作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、生活の中の造形などの造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めること。

〔共通事項〕(1)

イ 形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつこと。

〔学習過程の工夫〕

表現活動
伝えたいテーマを決め、テーマに沿った表現を工夫する。

往還する

鑑賞活動
表現の工夫について、色や形に基づいて、感じ取ったり深めたりする。

《既習事項との関連》

○前学年までの材料や用具の経験や技能
・水彩絵の具の使い方 ・色の作り方
・はさみやのり、カッター等の使い方 等

《個々の児童の状況に応じた配慮》

◇発想・構想の支援として、学校周辺の写真等を準備する。
◇実際に材料に触れることで、材料の特徴を捉えたり、材料から発想が出来るようにする。

《他教科等との関連》

【道徳科】第6学年 D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること 21 感動、畏敬の念
【社会科】第6学年 我が国の政治の働き

表したいことを見付けて表し方を考える

必要な材料を選んで作品に表す

鑑賞し見方や感じ方を深める

表現及び鑑賞の活動 願いをこめた町づくりを計画し、表現したり発表したりする。

〔題材名〕楽しく幸せにくらせる町をつくろう

・自分の経験や他教科等での学習課題に基づいて具体的なイメージをもち、発想や構想を広げる力。

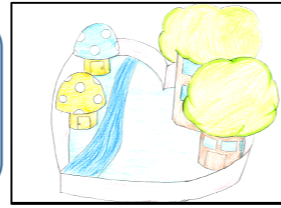
- 1. 「みんなが楽しく幸せに暮らせる町」を模型で表すという学習課題から発想・構想を広げ、イメージをもち、主題を決める。
* 「みんなが楽しく幸せに暮らせる町」とはどのような町かな。

イメージするための思考ツール(例)



* 願いを表すにはどんなものがあつたらいいかな。どんな形や色にしたらいいかな。

イメージ図(例)



人と自然が共存できたら楽しくて幸せなんじゃないかな。

・形や色、材料の特徴を生かす表現方法を考えながら主題を工夫して表現する力。

- 2. 主題をもとに、対話を通して効果的な表現の工夫をする。
* イメージした町を、形や色、材料を使って表現するにはどうしたらいいかな。

人にも自然にも優しい町を表現するために、水と木を配置したよ。優しい感じになるように全体の形をハート型にしてみたよ。

制作中の作品(例)



あわい色が優しい感じだね。町や自然を表すものが増えるともっと楽しくなるね。

表現

毛糸など柔らかい材料を使って自然を表したら優しい感じが強調できそう。(材料から発想)

毛糸を綿毛のようにしたい。丸めてはさみで切りそろえようかな。(創造的な技能)

PEテープを使うと向こうが透けて透明感が出るね。空気がきれいな町だから、私も使ってみようかな。

・表現の意図や表し方の工夫、よさに気づき、次の活動につなげる力。

- 3. 主題を基に行った表現の工夫について伝え合い鑑賞し合う。
次の表現に活かせる振り返りをする。
* 作品の意図が形や色、材料を使ってどのように工夫できたかな。

この作品は人にも自然にも優しい町だったらいなと思って作りました。家を木やキノコの形にして、自然と一緒に暮らすイメージを表現しました。全体をハートの形にして、優しさを表したよ。

明るくてあわい色が中心で優しい感じがするね。オレンジが目立ってアクセントになっているね。

柔らかい材料を使って町の住みやすいイメージが伝わるね。木の葉の綿が雲みたいで、雲に守られている町のように見えて面白いなあ。

どんなことができたかな。次の作品にも生かしましょう。

見方・考え方を働かせている子供の姿の例

・「みんなが楽しく幸せに暮らせる町」について自分の願いや思いをもち、具体的にイメージして自分の表したい主題や形や色、材料を使って表すための構想をしている姿。

・主題に基づいて形や色、材料の特徴を生かした発想・構想をし、それらの組み合わせ方などを試しながら、表現を工夫している姿。
・形や色、材料の特徴を生かした表現の工夫に着目して、分析的に見たり、作者の意図や気持ちを読み取ったりしている姿。

・形や色、材料の特徴と作品に込められた作者の思いや願い、表し方の工夫を関係付けて、作品のよさに気づき、次の表現への生かし方を言葉で表現している姿。

見方・考え方を鍛える教師の手立ての例

・思考ツールを活用して、各教科等の学習や経験の中で心に残っていること、身の回りから考えたこと等をイメージさせる。

・さまざまな材料に触れさせ、特徴を考えさせたり、特徴を基に組み合わせ方を試させたりする。
・対話させ、主題にあった表現の工夫を練らせたり、別の視点から捉えて価値付けさせたりして、新しい発想・構想をもたせる。また、それらを基に新たな表現を試みさせたりする。

・互いの作品について表現の意図と工夫を伝え合う際に、形や色などの造形的な視点を基に鑑賞や対話をさせる。

主な資質・能力の系統

幼児期

感じたこと、考えたことなどを音や動きなどで表現したり、自由にかいたり、つくったりなどする。

小学校(図画工作)

第1学年及び第2学年

絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付けることや、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考えること。

第3学年及び4学年

絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付けることや、表したいことや用途などを考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えること。

本題材

第5学年及び第6学年

絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したこと、見たこと、伝えたいことから、表したいことを見付けることや、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じ、用途などを考えながら、どのように主題を表すかについて考えること。

中学校(美術)

第1学年

伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容などから主題を生み出し、分かりやすさと美しさなどの調和を考え、表現の構想を練ること。

第2学年及び第3学年

伝える目的や条件などを基に、伝える相手や内容、社会との関わりなどから主題を生み出し、伝達の効果と美しさなどの調和を総合的に考え、表現の構想を練ること。